

## 美濃加茂市新庁舎整備基本構想策定委員会（第1回）議事録

1. 日時：平成29年2月7日（火） 19:30～21:00

2. 場所：美濃加茂市生涯学習センター201

3. 出席者：

（1）委員

海道会長、須藤委員、鈴木委員、佐合（鋭）委員、鹿野委員、日比野委員、山田（智）委員、渡邊（博）委員、安藤委員、渡邊（須）委員、佐光委員、長谷川委員、山田（亜）委員、渡辺（勝）委員、西田委員、舟阪委員  
（17名中16名出席）

（2）オブザーバ

株式会社ミュキデザイン2名、株式会社ソーシャル・アクティ1名

（3）市

市長、経営企画部長、施設経営課長、施設経営課課員5名

4. 概要：

（1）市長あいさつ

「一人でも多くの市民の方々に参加していただき、市民のみなさんに楽しみに思ってもらえるようなものをつくっていききたい。そして、庁舎からまちを考えていきたい。市や地域が一丸となれるような庁舎をめざしたい」

（2）委員紹介 事務局から、各委員の紹介がされた。

（3）会長の選出 委員の互選により、海道氏が委員会会長に選出された。

（4）市長から会長へ諮問書の手交 市長から会長へ諮問書が手交された。

（5）会長あいさつ

「庁舎は全ての市民が関わる大切なもの。市民と一緒に、広く誇れる庁舎のあり方について、単に建物だけではなく、まちとの関わりの中で考えていきたい。市民みんなに愛されるようなものを考えることが大切です」

（6）「本委員会の設置目的等」及び「市庁舎の現状」について  
事務局より、資料に基づいて、本委員会の設置目的及び市庁舎の現状等について説明がされた。

（7）新庁舎整備に関して意見交換

出席委員の全員が、自己紹介を行うとともに、新庁舎整備に対する意見を述べた。委員が

ら出された主な意見は以下のとおり。

- ・庁舎は想定外の災害にも耐えるものでなければならない。セキュリティ、データバックアップ、災害時の発電も大事。
- ・子どもが集まるような広場、子どもから高齢者まで交流できる場所があるとよい。市役所に図書館が併設されるものもよい。
- ・本館にエレベータがないことと駐車場が狭いことが課題である。また、目先のことにこだわることではなく長期的なコストを考えるのも必要。
- ・「なるべく安く仕上げる」ではなく「なるべくみんなに親しまれる」ように。また、岐阜市のメディアコスモスは図書館であって図書館でない、と言える。それは単に本を借りる以外に人々が集まっているような活動ができるからである。市役所に関しても、この意味において市役所であって市役所でないというものであるとよい。
- ・最近の市役所には、市役所の機能の一部機能が周辺の複数のビルあったり、ビルの半分が市役所で残りの半分は民間であったり、昔の市役所形態とは違う形態も存在する。
- ・市民の声の収集方法が大切。現庁舎の使い勝手の悪いところを説明することも大事。また、現庁舎は耐震より狭さが問題。
- ・気軽に立ち寄れて、そこに居ると何か繋がりができる場所であるとよい。「本庁舎」「分庁舎」といった名称でなく別の名称をつけて、市民が建物と場所の名前が一致するとよい。また、未来の状況も予想しながら計画をたてるべき。
- ・自治体の庁舎は自治体の理念に沿ってつくられるべき。また、職員の働きやすい環境という視点も大事。
- ・市内の「中消防署」では台風が来るとそこが水につかる危険性があるので、消防車が避難するという事態になっている。庁舎が移転するなら消防署も一緒に移転することを検討して欲しい。建物の外に有事の際に人が集まる十分な大きさのスペースを確保すべき。
- ・高齢者にやさしい場所であること。しっかりとした防災拠点が必要。場合によっては土地買収をして大きなものを作るべき。
- ・市民が利用しやすく、災害に強い庁舎であるべき。現庁舎建設時の人口約3万人と比較し、今は人口5万超に増加しているので、庁舎も手狭なのではないか。
- ・庁舎を中心に若者や外国人が住みやすいまちになると、人口が増えるのではないか。また外国人にも使いやすい庁舎であるべき。
- ・市民全員の意見を聞くつもりでやってほしい。今後、市民ワークショップも予定されているということなので、それはよいことである。
- ・現庁舎は、狭く、暗く、閉鎖的と感じる。若者の自分は市役所手続きでわからないことが多かった。外国人ならなおさらだと感じた。残念ながら現在は友人と遊ぶときに市内で遊ぼうということにはならない。将来は商業施設や公園の中に市役所があったらよい。それなら市内で遊べる。
- ・市役所は遠い存在と感じる。市民がつどえる場所であるとよい。

## 5. 次回以降の進め方

次回開催日時は、平成 29 年 3 月 29 日 19:00~21:00 とした。

以上